

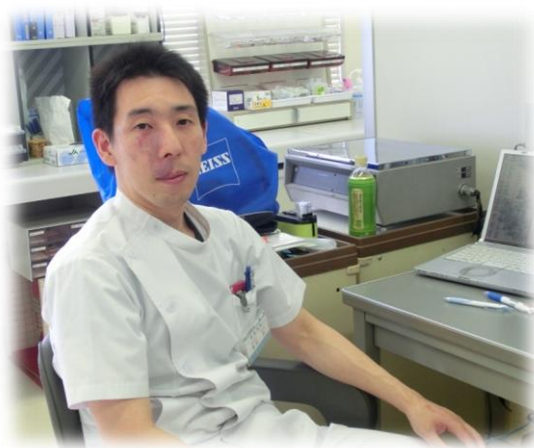
☆☆☆☆☆ 形成外科の診療を開始しました ☆☆☆☆☆

坂下厚生総合病院 形成外科 堀切将ほりきりまさる

形成外科とはまだ、あまりなじみのない分野かもしれません。一体何をしている診療科なのかという疑問をお持ちの方が多いのではないかと思います。

○形成外科の成り立ち

日本で形成外科が専門分野のひとつとして発足したのは1956年で、東京大学整形外科の中に設立された、形成外科特別診療班という名前でした。1975年に標榜科として独立しましたが、その歴史はまだ半世紀程度にすぎません。しかし、現在記録に残っているもっとも古い形成外科の手術は紀元前には既に行われており、その手法は現在でもなお応用されているのです。



○どんな疾患の治療をしているのか？

形成外科は名前の通り、外科学の一分野です。その目的は「体に生じた何らかの形態的な異常を、主に手術という手段を用いて機能的にも形態的にもより正常に近づけること」です。従って扱う疾患は「体に対して形態的な異常を与える疾患すべて」ということになります。具体的な例を挙げると、外傷(骨までは到達しない擦り傷や切り傷など)、熱傷、腫瘍(できもの)などです。形成外科とは、実は病院にかかろうと思うような疾患の中ではもっとも起こりやすい疾患を扱っているのです。

○“ちょっとした”傷を治したい・・・

転んで額をぶつけて切ってしまった、割れたコップで手をケガしてしまった、熱い味噌汁を足にこぼしてしまった、頬のできものが毎年少しずつ大きくなってきた…などという経験を過去にされたことがない人はほとんどいないと言っても過言ではないでしょう。そのような、“ちょっとした”疾患に対して、傷をよりよく治していくための専門的な知識を持って診療にあたっているのが私たち形成外科医なのです。他にも、寝たきりの患者さんに発生した床ずれ(褥瘡)や生まれつきの病変(先天異常)など、さまざまな患者さんを扱っています。

いかがでしょうか。形成外科に対する疑問符を少しは解消することができたでしょうか。坂下厚生病院では院長先生はじめスタッフの皆さんのご助力により2013年1月より外来をスタートさせることが出来ました。まだまだ至らぬところは多々あるかと思いますが、皆で協力し合って地域の皆さんに頼りにされる診療科を作り上げたい所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

○診療日時・・・毎週月曜日 午後1時30分より

受付は、午前7時30分から11時30分と午後1時30分から3時30分です。